みんなで
建物づくり！

こんな学校があったらいいな！
対話による学校空間づくり

－対話を通じた新しい学校空間づくりのすすめ－

対話って どんなことを するの？

改築や大規模な改修の際に，ファシリテーターや講師を招いてワークショップ等により，学校関係者が「育てたい子供の姿」や「地域における学校」など，どういう学校をつくっていくかを話し合います。

対話するとき 大事なことは？

・参加者が“自分事”として参加すること！

みんなが使う学校をつくっていくための対話です。自分が住む家を建てるのと同じように，どんなふうに過ごしたいのか，そのためにどんな空間が必要か，自分事として考えて参加することが大切です。

・考えを深め，学び合い，高め合い，学校観や教育観を共有すること！

対話の積み重ねの中で，設置者，教職員，保護者，児童生徒，地域住民など参加者それぞれが自分の考えを深め，学び合い，高め合い，みんなで学校観や教育観を共有することが大切です。

学校施設は建設された時点が完成ではなく，そこが新たなスタートです。対話を通じてそれぞれが自身の考えを深め，他者の意見を聞き合い，みんなでよりよい学校空間づくり，完成後の学校運営を目指しましょう。

対話して よかったこと！

学校は地域にとっても大切な施設。
自分の意見が反映されるってうれしい。
学校がより身近になった。

「この建物，使いづらい」この声を聞く機会が減った。

講師が教えてくれた先進校，グループワークや発表会もできる図書室。
こんな学校があることを初めて知り，自分もこんな授業をしてみたいと思った。

新しい学校。
物がすぐに見つかる便利な場所の資料棚。
気軽に打合せができる職員室のソファスペース。
建物が変わったこと，工夫を知ったことで働きやすくなった。

どんな流れ？

対話を通じた新しい学校空間づくり　進めかた（一例）

＜＜学校を改築・改修することが決まった＞＞

対話のファシリテーター※を依頼

※対話・ワークショップがうまく進むよう，企画・運営や支援・助言をする役割の人。学校空間づくりでは建築にも教育にも詳しいコンサルタントや大学教授等の有識者，設計者など。

誰でも参加型のワークショップを実施

理想の学校像について講師を招いて話し合い

参加者の声

自分の中の思いが改めて整理された。
他の人の意見を聞けて，学びがあった。
つくりたい学校像が少し見えた。

教職員による先進事例の視察

対話による学校空間づくりを行った事例と
新しい時代の先進的な施設整備事例を視察

こんな建物のこんな使い方での授業，
目からうろこだった。
自分たちの学校にどんな空間があったらいいか，イメージしやすくなった。

教職員ワークショップを実施

行いたい教育，現状の学校の改善点，残したい部分について話し合い

いずれも取組ごとに広報紙にまとめて周知

＜＜基本方針・計画が固まった＞＞

プロポーザルで設計者を決める

教職員ワークショップを実施

図面の上に模型を歩かせて一日の
流れを想像してみた

各室同士の連携がこうしてできそうなどと想像ができた。室同士の間隔が思ったより遠い・近いが体感できた。

児童生徒ワークショップを実施

学校の中心に配置予定のホールを使ったイベントを検討した

教職員ワークショップを実施

階段教室を使った授業方法について検討した

空間活用の意識が芽生えた。
こんな授業をしたい，の考えが広がった。

いずれも取組ごとに広報紙にまとめて周知

どんな流れ？

対話を通じた新しい学校空間づくり　進めかた（一例）

＜＜学校が完成＞＞

教職員ワークショップを実施
学校空間の使い方について全員で改めて
設計者から話を聞き，授業での応用を検討した

今年度から赴任したけれど，学校空間づくり当時の経緯がよく分かった。使い方も知ることができた。

計画していた行事を実施
・ホールを使った全校行事「中庭で育てたいお花はこれ！」プレゼンテーション大会を実施
・オープン型教室を活用して，「うちのクラスのエコな取組」発表会を実施
教室やオープンスペースを広く使い，取組を地域の人や保護者に紹介

行事があることで，自然体で毎年上手に空間を活用できていると思う。活用を続けていく中で，学校関係者間でこんな行事はどうかという提案があるなど，学校完成後も発展して使っている。

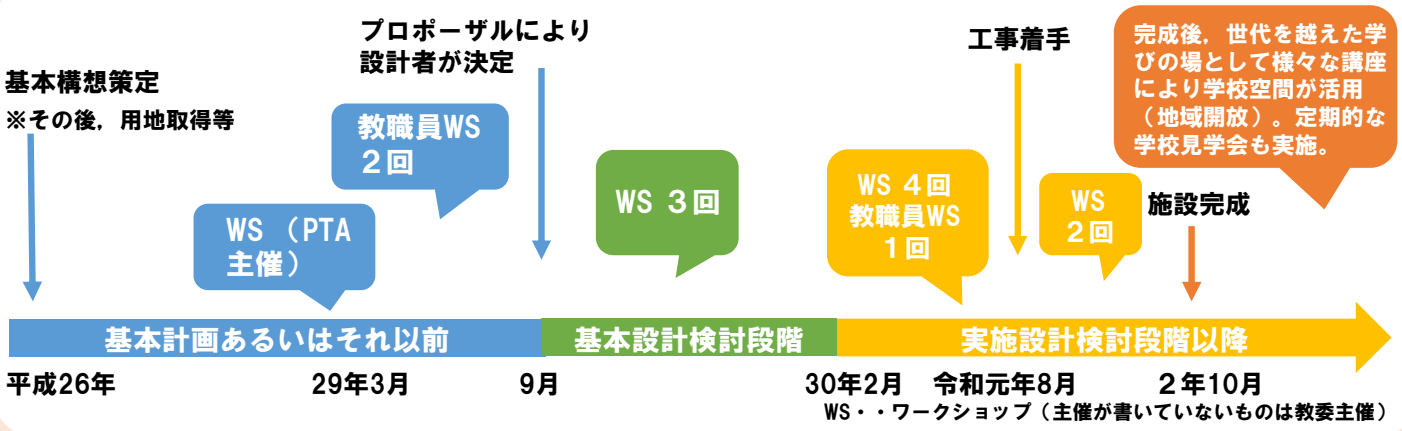
事例

秋田県五城目町立五城目小学校

学校の移転改築決定後から完成まで，誰でも参加可能のワークショップを10回，教職員ワークショップを3回開催。その中で，学校づくりに関する知識や経験が豊富な有識者を講師に招き，参加者に学校づくりとは何かを考えてもらう機会や，先進事例を紹介し学校空間の工夫などを知ってもらう機会を設けている。
対話の中で生まれた建築コンセプト「越える学校」のもと，完成後の現在も常識を越えていく授業の実施や学校空間を活用した生涯学習の仕組み「みんなの学校」を展開している。

建築年月：令和2年10月　児童数：270人　構造：RC造・一部鉄骨造3階建て
（令和4年5月時点）

学校空間づくりの流れ



対話 Q&A

対話による学校空間づくりを始めたいと思った時，進めていって疑問が生じたら・・

＜＜対話による学校空間づくりを始めたいと思ったら＞＞

Q. 学校空間づくりの対話をしようと思ったとき，まず何をしたらいいですか？

A. 参考となる他校を視察したり，学校空間づくりの対話においてファシリテーター（対話・ワークショップがうまく進むよう，企画・運営や支援・助言をする）の役割を果たす人に相談しましょう。

Q. ファシリテーターはどういう職業の人で，どうやって探したらいいですか？

A. 建築にも教育にも詳しいコンサルタントや大学教授等の有識者，設計者などです。該当者が思い当たらない場合は，文部科学省が設置する「CO-SHAプラットフォーム」において該当者紹介の相談を受け付けています。

＜＜学校空間づくりの対話の場の設定や発信＞＞

Q. ワークショップを開催する場合，企画・運営は，設置者が担うのですか？

A. 必ずしも設置者が担う必要はありません。ファシリテーターを専門の人に依頼して実施する場合もあります。特に初めて行う場合は企画・運営を主導するファシリテーターへの依頼を積極的に検討してみましょう。

Q. ワークショップを開催するとき，定員をどうやって決めたらよいですか？

A. ファシリテーターの役割を果たす人が，ワークショップ中に全グループの様子を見ることができる人数，また，発表時間を設ける場合は発表グループ数が10グループを超えるなど多くなりすぎないように気を付けて設定しましょう。

Q. できる限り多くの人に対話に参加してもらうポイントはありますか？

A. 所属により参加しやすい時間帯が異なるため，まずは平日夜，休日昼など様々な時間帯での開催を検討しましょう。また，HPやSNS，地域の掲示板などで早めの周知を行いましょう。

Q. 教職員は学校完成前に異動してしまう人も出てくるため，学校空間づくりの対話に時間を割いて参加してもらうのは難しいです。何かいい方法はありませんか？

A. 異動して完成時に学校にいられないとしても，対話で得られた知識や関係者とのつながりは続いていきます。教員が参加しやすい時期や時間帯，定期的な会議の中に組み込むなど，自然と参加しやすい環境を整えられるのが理想です。

Q. せっかくの対話の経過を発信したいです。いい例はありますか？

A. 対話の経過をニュースレターにしたり，わかりやすいHPで発信している自治体があります。「対話を通じた新しい学校空間づくりに関する調査研究　報告書（令和5年3月）」の参考資料に掲載しているので御覧ください。

対話 Q&A

対話による学校空間づくりを始めたいと思った時，進めていって疑問が生じたら・・

＜＜学校空間づくり時の理念，学校の使い方などの継承＞＞

Q. 教職員の異動により，対話による学校空間づくり当時の経緯や話し合いの内容を知る人が減っていきます。知る人が減っても自然と伝えていけるような学校建物での工夫はありませんか？

A. 施工時に，玄関ホールやメディアセンター，防火扉など日常通る場所や目に留まりやすい場所に，壁紙として当時の経緯や話し合いの内容をまとめたものを掲示するといった方法が考えられます。

Q. 竣工後，数年たっても自然と学校空間づくり時の理念や使い方を継承できるような，日常の教育の中に組み込めるような仕組みはありませんか？

A. 例えば木材活用を行った学校において，授業の一環としてメンテナンスを行う例や，常識にとらわれない授業展開・空間活用や学校を開放して使うことを念頭に学校づくりが行われた学校で，学校開放の取組を定期的に続けることで継承する例があります。（「対話を通じた新しい学校空間づくりに関する調査研究　報告書（令和5年3月）」において，木育の取組p.151　学校開放の取組p.119に紹介。）

Q. 仕組みを作って継続していきたいのですが，教員，職員の仕事が増えてしまうのが気掛かりです。うまく運営・継承する方法はありませんか？

A. 仕組みの運営を民間委託することも念頭に検討してみることも考えられます。（「対話を通じた新しい学校空間づくりに関する調査研究　報告書（令和5年3月）」において，p.119に紹介。）

もっと詳しく知りたい方は，「対話を通じた新しい学校空間づくりのプロセスに関する調査研究　報告書（令和5年3月）」に先進事例の掲載や研究会有識者による寄稿等を掲載しておりますのでぜひ御覧ください。

https://www.nier.go.jp/shisetsu/html/04.html

文部科学省
国立教育政策研究所
NIER
対話を通じた新しい学校空間づくりのプロセスに関する調査研究　研究会